

生協ひろしまの環境の取り組み(2008年度～2010年度)

生協ひろしま

生協ひろしまの過去3年間の環境関係の取り組みを、「CO₂排出量削減」、「買物袋持参率の向上」、「組合員からのリサイクル回収量の向上」、「食品リサイクル率の向上」の4つの視点から報告します。

1. CO₂排出量の削減の取り組み

(1) 太陽光発電の導入

一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の1/3補助の交付決定を受けて、2009年10月にオープンしたコープ東広島の屋上に10kwの太陽光発電を設置しました。2009年11月～2010年12月の間で総発電量1,1604kWh(893kWh/月)となりコープ東広島で使用する電気の0.7%をまかない、4.4t-CO₂の排出削減になっています。



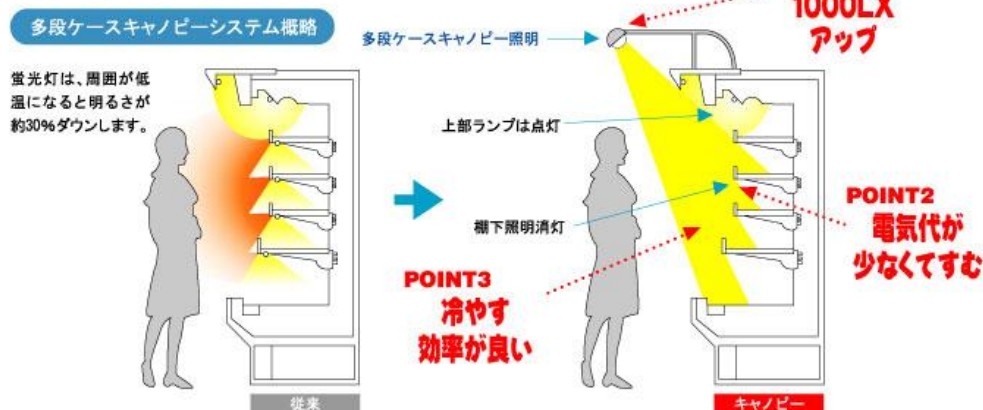
(2) LED照明の導入

2009年10月にオープンしたコープ東広島の生鮮売場のスポット照明(精肉を除く)、ベーカリー、化粧品、アイスクリームショーケース、女性用トイレのダウンライトにLED照明を導入しました。また2010年7月にオープンしたコープ西風新都にも導入をしています。



(3) キャンピー照明の導入

高効率な外付け照明を取り付けることで、棚下照明を削減。棚下照明の消費電力と冷凍機への負荷を低減します。



(4) 配送車両に BDF 燃料導入

生協ひろしま 9 店舗の惣菜部門から排出される廃食油を、庚午支所にある 4 台の配送車両の燃料に使用しています。バイオディゼル燃料 (BDF) 車両を導入することにより、2009 年 5 月～2010 年 12 月の間で 9,269 リットルの燃料使用量が削減でき、24.3t - CO₂ の排出削減になっています。



(5) ペレットストーブの導入

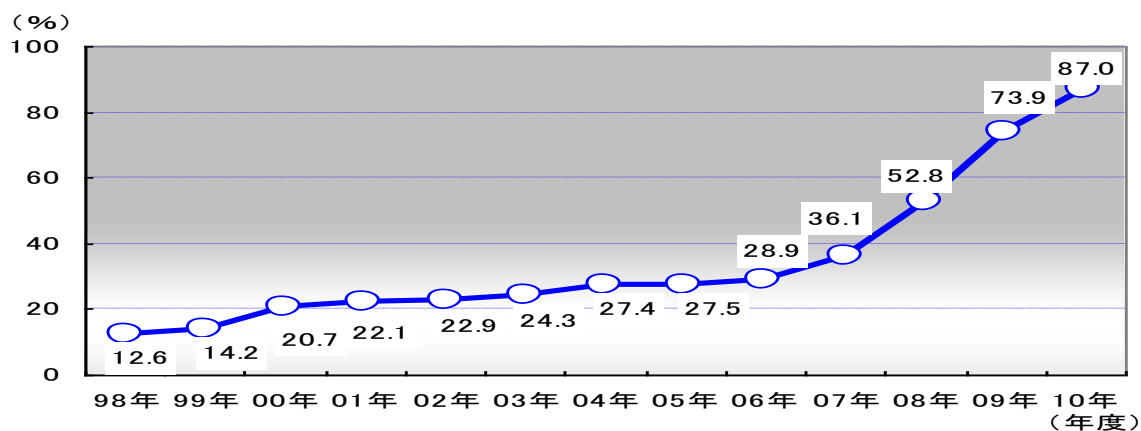
2008 年度のレジ袋無料配布中止に伴う販売収益金(204,155 円)を木質ペレットストーブによる CO₂ 削減の実証実験に活用することとし、11 月 13 日、三次支所にペレットストーブを設置しました。これにより、2009 年度は 449 リットルの灯油使用量が削減でき、1.1 t - CO₂ の排出削減になっています。



2. 買い物袋持参率の向上の取り組み

(1) 買い物袋持参率の推移

1995 年度から買い物袋持参者へスタンプ制度を導入し、買い物袋の呼びかけを行い、着実に持参率を伸ばしてきました。2008 年 4 月からレジ袋の無料配布を中止する店舗が増えるごとに、買い物袋の持参率は上昇し、2010 年度は全店平均で 87.0% の持参率になる見込みです。またレジ袋の無料配布を中止した店舗では、90% 前後の持参率となっています。



(2) 行政等とのレジ袋の無料配布中止の連携

- 2007 年度 広島市のレジ袋有料化実験の 4 者協定に調印
- 2008 年度 広島市安佐南区(4 月)、安佐北区(2 月)でレジ袋の無料配布中止
- 2009 年度 広島県とレジ袋無料配布中止の協定を結ぶ(コープハモンズを除く全店)

レジ袋の無料配布中止の経過

実施日	対象エリア	生協ひろしま店舗
2008年4月1日	広島市安佐南区(上安方面)	コープ安東
2009年2月1日	広島市安佐北区(高陽)	コープ高陽
	広島市安佐南区(全域)	
2009年6月1日	呉市全域	コープ焼山、コープミニ政畝
2009年10月1日	広島県全域 (三次市、福山市を除く)	コープ温品、コープ矢野東、コープ船越、 コープ五日市北、コープ東広島
2010年7月1日		コープ西風新都

※コープ西風新都は開店時より

(3) Cハモンズ募金方式で有料化

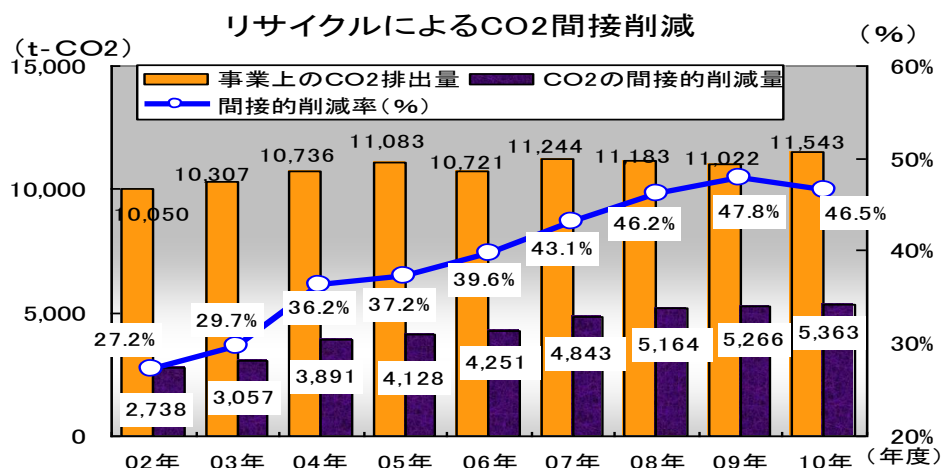
Cハモンズでは、2010年10月よりレジ袋を募金方式により無料配布を中止しました。それにより買い物袋持参率は、2010年4月～9月の平均持参率37.8%が2010年10月～12月は67.3%と上昇しています。

3. 組合員からのリサイクル回収量の向上の取り組み

(1) リサイクルによるCO₂間接削減量

組合員から飲用パック等を回収しリサイクルすることにより、CO₂排出量を間接的に削減することに繋がっています。回収量は年々上昇し、2010年度は、生協ひろしまが事業を行うことにより排出した11,543 t-CO₂に対して、46.5%の削減に相当する量のCO₂を間接的に削減できる予定です。2010年5月より尾道物流センターの稼動に伴い、ドライ商品をビニール袋に入れて配送するようになりましたが、そのビニール袋も冷凍・冷蔵のビニール袋と同様に回収することにより、ビニール袋は回収量が約25.9%増加する予定です。

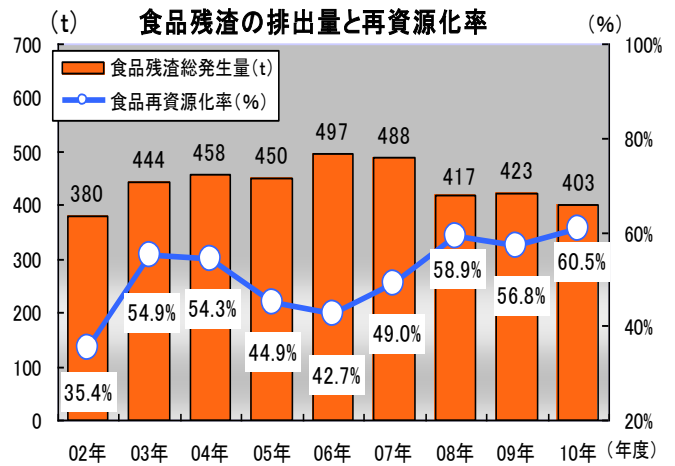
2008年12月より店舗で透明トレイの回収を開始し、リサイクル品目を増やしました。2008年12月～2010年11月の間で6,910 kgを回収し、1店舗あたりの回収量は2008年度13kg/月、2009年度32kg/月、2010年度40kg/月と徐々に増加しており、組合員への認知も高まっています。また組合員からトレイ等を回収することにより、再資源化委託料の減額になり、経費削減にも繋がっています。



4. 食品リサイクル率の向上の取り組み

(1) 食品リサイクル率の実績

店舗の水産部門から排出される魚の残渣(全店舗対象)、農産部門から排出される野菜くず等(広島市内7店舗とC東広島対象)は、再生利用業者により堆肥にリサイクルされています。また全店舗で廃棄ロス率(廃棄ロス率/供給金額)の目標を立て、年間を通じて商品発注の精度の向上等に取り組んでおり、2010年度の食品リサイクル率は60.5%になる見込みです。

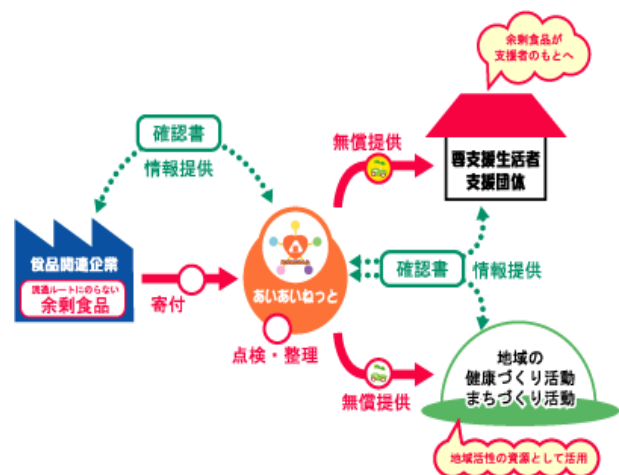


<店舗から排出される野菜くずからできた“リサイクリン(堆肥)”を店舗で販売しています>



(2) フードバンク広島に余剰商品の提供

市場に出すことはできなくても、食品として十分に使用できる食べ物を捨てずに活かすフードバンク事業に協力し「NPO法人あいいねっと」に生協ひろしまの商品管理基準を超えた賞味期限内の商品提供を2009年2月より行っています。商品提供店舗は3店舗(コープ安東、コープ高陽、コープ五日市北)で2009年2月~2010年12月の間で、3026.8kgの商品提供を行いました。



(3) 広島商品センターの生ごみを肥料としてリサイクル

2010年5月に農産センターが広島商品センターへ移設したこともあり、広島商品センターから排出される野菜くずを再生利用業者により堆肥化する取り組みを2010年9月より開始し、2010年12月までに3.4tの野菜くずの堆肥化ができています。これにより、廃棄物の発生抑制と食品リサイクル率の向上に繋がっています。

5. 行政から環境の取り組みに対し表彰を受賞

2008 年度、コープ船越、コープハモンズ食彩館が行政より、環境の取り組みに対して賞をいただきました。

●広島市ごみ減量化優良事業者表彰を受賞

コープ船越が、「広島市ごみ減量化優良事業者表彰」を受賞しました。

この表彰は、事業系一般廃棄物の減量化・資源化について、他の模範となるような取り組みをされている事業者に対して、日頃の労に報いるとともにその功績を称えることにより、ごみ減量・リサイクルの一層の推進に資することを目的として創設されています。



●ふくやま環境賞を受賞

コープハモンズ食彩館が、第 1 回「ふくやま環境賞」を受賞しました。

この表彰は、地球温暖化防止活動及び 3R 推進活動など環境にやさしい取り組みを実施する団体及び事業者、ごみステーションの適正管理を積極的に取り組む団体に対して表彰し、その活動をより一層発展させることを目的として創設されています。



以上